

はじめに

現代における私たちの生活は、科学と技術によって大きく支えられています。科学技術の発達に伴う専門化や細分化が進んでしまった科学技術分野を「人々に役立つシステムを作り上げる」という視点から見直して再統合し、それに則った教育プログラムを提供するべく、工学システム学類は設立されました。特に「安全で安心な、そして快適で豊か、かつ持続可能な人間生活」を工学面から支え、関わる分野をグローバルに牽引できるエンジニアや研究者を育てることを当学類の教育の第一の目的とし、学習と教育の到達目標を定めています。当学類の教育課程（カリキュラム）は、その目標を見据えて1年生として入学したときから4年生で卒業研究に着手するまで、順を追って学ぶことができるように構成されています。このカリキュラムは当学類の教育の目標を達成するためのもので、多くの授業科目から成り立っています。まずはその全体像を知ることから始めましょう。

この「履修の手引き」には、工学システム学類の各学年・各主専攻分野で履修する科目の時間割や年次を追っての科目の流れなどを掲載しています。まず、この冊子によって工学システム学類で開設されている講義名とその流れを把握してください。その講義名がわかったら、その内容や各週の授業計画、他の科目との関連性などの情報をその講義科目ごとのシラバスで確認しましょう。シラバスはオンライン化されています。Webブラウザを使って本学の指定サイトにアクセスすれば、講義の具体的な内容を知ることができます。シラバスには、授業概要、学類の学習・教育到達目標との関係、授業の到達目標、授業計画、成績評価方法、授業外における学修方法、使用教科書や参考文献、教員から学生に望むことや注意点など、授業を受ける上での参考情報が記載されています。シラバスを利用して、カリキュラムを総合的に理解し、授業科目のつながりを把握しながら、受講科目を選択してください。

この手引きには、科目担当教員名とその連絡先、資格取得に関連する情報も掲載しています。この手引きをよく読み、活用してください。この手引きについて、もし何かご意見やご要望がありましたら是非お知らせ下さい。今後の改善に役立てていきます。

最後に、本冊子の編纂にあたっては関係各位にはご尽力をいただきました。ここに深く感謝の意を表します。

令和7年4月

工学システム学類長